

オパシメータの保守点検要領

点検箇所		点 検 要 領	備 考		
オパシメータ	日 常	本	各スイッチの作動及び機能を点検する。	正常に作動しない場合は、取扱説明書に沿って対応し、解決しなければメーカーに修理を依頼する。	
		体	本体冷却用のファンがある場合には、作動状態及びフィルタの状態を点検する。	フィルタが汚れている場合は、清掃を行う、ファンが正常に作動しない場合は、取扱説明書に沿って対応し、解決しなければメーカーに修理を依頼する。	
		体	リモコン等が装着されている場合、リモコン機能について点検する。	正常に作動しない場合は、取扱説明書に沿って対応し、解決しなければメーカーに修理を依頼する。	
		体	自動測定モードを備えるものにおいて測定開始操作で測定を開始するか点検する。	測定開始しない場合は、取扱説明書に沿って対応し、解決しなければメーカーに修理を依頼する。	
	日 常	検 出 部	プローブ及び導管	導管、プローブを本体から外し、つぶれ、割れ、つまり、汚れ及び水分の凝縮を点検する。水セパレータが装着されている場合、水分凝縮を点検する。	つぶれ、割れのあるものは交換し、汚れ、つまり及び水分凝縮のある場合は、圧縮空気ですばり、十分乾燥させる。
			プローブ及び導管	導管及びプローブ長を点検する。	取扱説明書等により規定の長さを確認し、規定の長さでない場合、メーカーに修理（部品交換）を依頼する。
			プローブ及び導管	プローブ装着用の器具の状態及び作動を点検する。	器具の故障により確実に排気管に装着できない場合は、メーカーに修理を依頼する。
			プローブ及び導管	プローブと導管の接続状態を点検する。	接続が確実にない場合は、メーカーに修理を依頼する。
		指 示 等	チャンバ	光源部、センサー部若しくは保護ガラス部の汚れ及び傷の有無を点検する。保護ガラスのホルダがある場合は取付状態を点検する。	汚れのある場合は、取扱説明書に沿って傷をつけないようにレンズクリーナー等と、きれいなやわらかい布などで清掃する。傷のある場合は交換する。（有機溶剤不可）
			チャンバ	掃気用ファンの作動状態を点検する。	作動不良の場合は、取扱説明書に沿って対応し、解決しなければメーカーに修理を依頼する。
			チャンバ	使用頻度により、チャンパー内の清掃を必要とする機種の場合はセル内の点検を行う。	セル内の汚れが著しい場合は、取扱説明書に沿って付属のブラシで清掃する。
	1ヶ月	検 出 部	配線等	無線による接続の場合、接続状態を表示等により点検する。 コネクタの取付状態及び配線の損傷を点検する。	接続不良の場合は、取扱説明書に沿って対応し、解決しなければメーカーに修理を依頼する。 配線不良、コネクタ不良の場合は、メーカーに修理を依頼する。
			表示等	電源に充電電池を使用している場合は、充電電池の充電状態を点検する。	正常に充電しない場合は、取扱説明書に沿って対応し、解決しなければメーカーに修理を依頼する。
			表示等	エラー表示の有無を点検する。	エラー表示がある場合は、取扱説明書に沿って対応し、解決しなければメーカーに修理を依頼する。
			表示等	電源を入れ、デジタル表示の各部が正常に表示されているか点検する。 暖機終了後、ゼロキャルを行いゼロ指示を点検する	表示が正常でなければメーカーに修理を依頼する。 ゼロが狂っている場合は、取扱説明書に沿って対応し、解決しなければメーカーに修理を依頼する。
1年		校正を受ける。			